

製品名: CK7(12D7)マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM08857

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、pH 7.4、0.5% 保護タンパク質、防腐剤として 0.02% 新型防腐剤 N、50% グリセロールを含有。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:300
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	KRT7
別名	KRT7; SCL; Keratin, type II cytoskeletal 7; Cytokeratin-7; CK-7; Keratin-7; K7; Sarcolectin; Type-II keratin Kb7
遺伝子 ID	3855.0
SwissProt ID	P08729
免疫原	CK7 の合成ペプチド

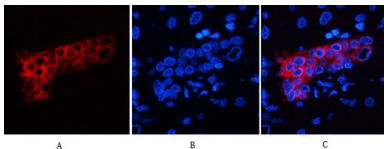
背景

ケラチン 7(KRT7) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ケラチン遺伝子ファミリーのメンバーです。II型サイトケラチンは、単純上皮組織および重層上皮組織の分化中に共発現するヘテロタイプのケラチン鎖のペアに配列された塩基性または中性タンパク質で構成されています。このII型サイトケラチンは、内臓の空洞を裏打ちする単純上皮、および腺管と血管で特異的に発現しています。II型サイトケラチンをコードする遺伝子は、染色体12q12-q13の領域に密集しています。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じる可能性があります、すべてのバリエーションが完全に説明されているわけではありません。[RefSeq提供、2008年7月]、機能: インターフェロン依存性間期を阻害し、細胞内のDNA合成を刺激します。ヒトパピローマウイルス16型E7 mRNA (HPV16 E7) の翻訳調節に関与しています。誘導: レチノイン酸によってアップレギュレーションされます。質量分析: PubMed:11840567, その他: 細胞骨格ケラチンとマイクロフィブリルケラチンには、I (酸性; 40-55 kDa) とII (中性から塩基性; 56-70 kDa) の2種類があります。PTM: Arg-20 はジメチル化されており、おそらく非対称ジメチルアルギニンになっています。類似性: 中間径フィラメントファミリーに属します。サブユニット: 2つのタイプIケラチンと2つのタイプIIケラチンからなるヘテロ四量体です。真核生物翻訳開始因子3 (eIF3) サブユニット EIF3S10 および HPV16 E7 と相互作用する。組織特異性: 培養表皮細胞、気管支細胞、中皮細胞で発現するが、結腸、子宮頸管、肝臓では発現しない。胃と食道の接合部における腺細胞全体に認められるが、食道には認められない。

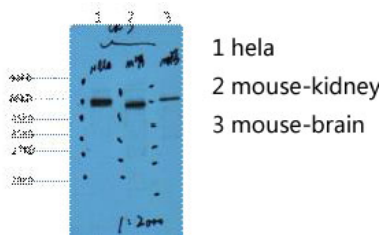
研究分野

シグナル伝達

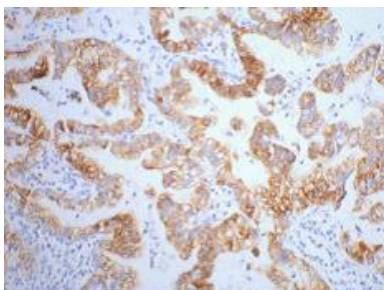
画像データ



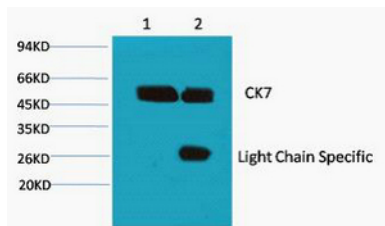
ヒト肝組織の免疫蛍光染色。1, CK7モノクローナル抗体(12D7) (赤)を1:200に希釈(4°C、一晚)。2, Cy3標識二次抗体を1:300に希釈(室温、50分)。3, 図B: DAPI(青)10分。図A: ターゲット。図B: DAPI。図C: A+Bの合成。



1) HeLa、2) マウス腎臓、3) マウス脳を1:2000に希釈したウエスタンブロット分析。



1:200に希釈したヒト肺癌組織のIHC染色。



1) 入力: HeLa 細胞ライセート 2) IP 産物: IP 希釈率 1:200